

北海道支部 2014 年度総会・研究会報告

北海道支部 支部代表 小泉章夫（北海道大学大学院農学研究院）
庶務担当 荒川圭太（北海道大学大学院農学研究院）

北海道支部では、2014 年度総会を 5 月 16 日（木）に北海道大学農学部で開催しました。議事には 2013 年度の事業報告・決算報告と 2014 年度の事業計画、予算案および役員交替について取り上げ、原案通り承認されました。日本木材学会が一般社団法人化してすでに 3 年が過ぎましたが、必要に応じて適宜支部会則や運営体制を見直しながら、支部活動をおこなっています。支部代表は昨年引き続き小泉が 2 年目の任期を務めるほか、任期を終えた支部役員が入れ替わり、新しい体制となっています。

また、同日午後、第 45 回の研究会を「FIT による道内木質バイオマス発電と国内先行事例－資源、原料から環境負荷まで－」のテーマで開催しました。木質バイオマス発電に様々な形で携わる 5 名の講師による講演にはとても大勢の方々に参加いただきました。また、懇親会では研究会に引き続き講師の皆様を囲んで有意義な時間を過ごすことができました。

北海道支部では、2014 年 11 月 12 日（水）の午後、平成 26 年度の研究発表会を札幌コンベンションセンター（札幌市白石区）にて北方森林学会と合同で開催致します。口頭やポスターでの発表と 2 題の企画講演を予定しております。詳しくは支部 HP (<http://www.agr.hokudai.ac.jp/wrsh/>) をご参照願います。